



所沢の 水道と下水道



所沢市上下水道局





目 次



水の循環 ^{じゆんかん}	1
所沢の水道の歴史 ^{れきし}	2
水道水はどこから来るの?	3
県水 ^{けんすい} が来るまで	4
浄水場 ^{じようすいじよう} の運転は? / 水の検査 ^{けんさ} は?	5
水道水ができるまで	6
水は限り ^{かぎ} ある貴重な資源 ^{きちよう しげん} です	8
三ツ井戸 ^{みついで} ～水にまつわる伝説 ^{でんせつ} ～ / これは、何の蓋 ^{ふた} ?	9
所沢の下水道 ^{れきし} の歴史	10
所沢市で使われた水のゆくえ	11
使った水がきれいになるまで	12
まちに降 ^ふ った雨はどこへ行くの? / 下水を流す方法	14
下水道 ^は の果たす役割 ^{やくわり}	15
きれいな水 ^し を自然 ^{ぜん} に戻 ^{もど} そう	16
足元を見てみよう!	17
過去 ^{かこ} の浸水 ^{しんすい} 被害 ^{ひがい} と対策 ^{たいさく}	18
地震 ^{じしん} に強い水道と下水道を目指して	19
「マンホールカード」	20
所沢市の水道と下水道 Q&A	21

水の循環

水は姿や形を変えて地球をぐるぐるまわっています

地球の水は、太陽に温められて蒸発し、雲になります。雲は、雨や雪に姿を変えて地上に降り、川に流れ込んだり地下水となって、やがて海にたどり着きます。そして、また水蒸気となって空の雲となります。

私たちが台所や風呂、トイレなどで使った水も、やがては川や海へと流れていきます。そして、蒸発して空にのぼり、雨や雪となって再び地上に戻ってくるのです。

陸と海と空をめぐる不思議な水の旅。

生き物の命を育む水を守るため、森や川、海や空をいつまでもきれいにしたいものです。

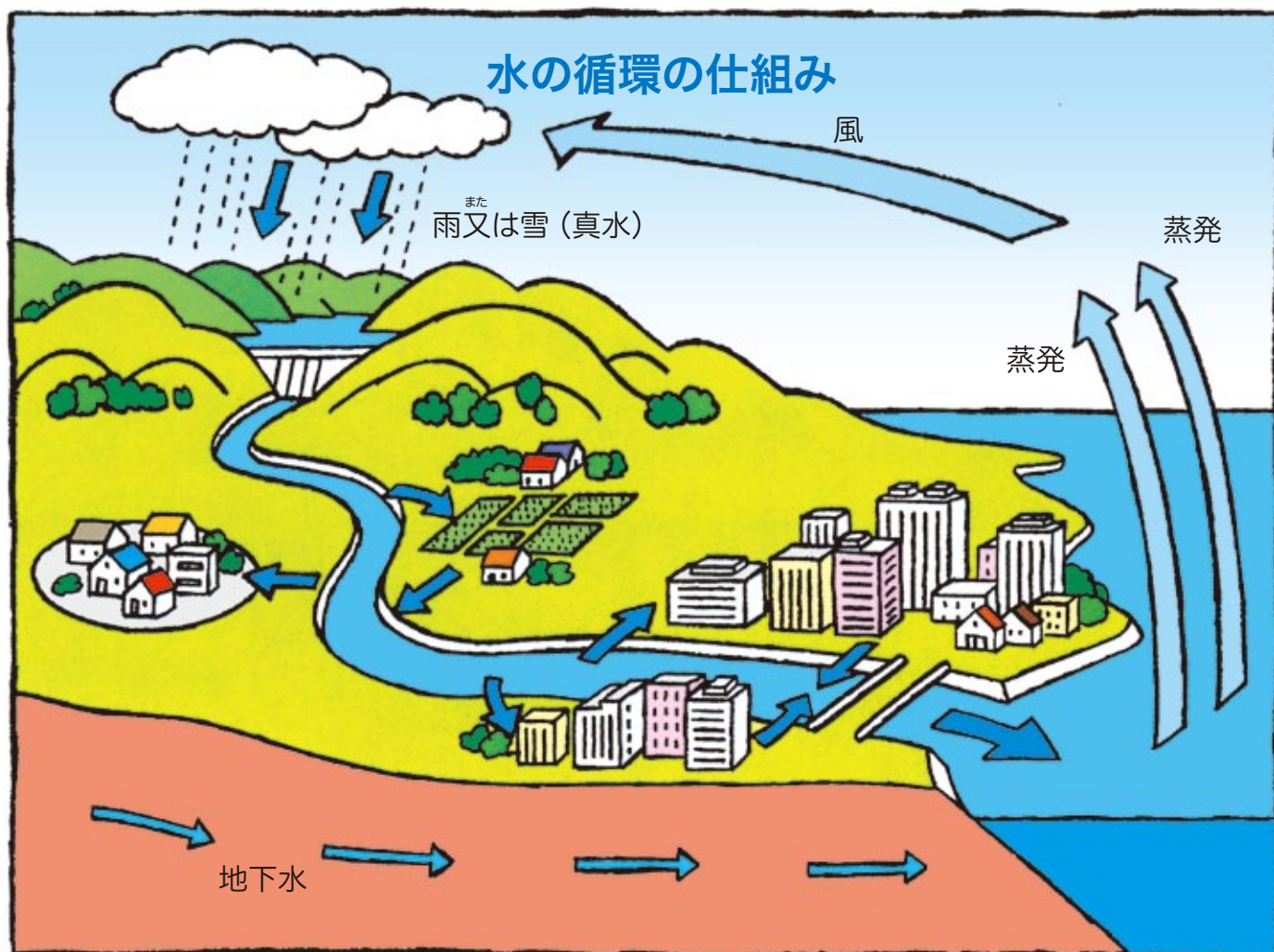
とても少ない使える水

真水はわずか3%

地球上の水は、97%が海水です。だから塩分を含まない真水は、3%ということになりますね。

ところが、その真水のほとんどは南極や北極などの氷に姿を変えています。

私たちの身のまわりにおいて、実際に使うことができる水は、わずか0.8%しかないのです。



●「地下水」とは、雨水が土の中にしみ込んで、地下にたまったり地中を移動している水のこと。

所沢の水道の歴史

水道の誕生から現在まで

所沢は、台地で大きな川がないため、水が豊かではありません。また、とても水はけが良いので、昔から井戸をつくるには地面を深く掘らなければなりませんでした。しかも、多くのお金が必要なため、それぞれの家で井戸を持つことができませんでした。

そのため、住民は遠くの共同井戸まで水をくみに行かなければならず、家庭の水仕事には大変苦労しました。さらには、日照りが続くと井戸水が枯れてしまうこともありました。



出典：むかしのところざわ百景 著者：峯岸正雄



昭和9年の干ばつ時の様子

昭和9年（1934年）4月、所沢町では大干ばつがありました。町中の井戸が枯れて、飲み水さえ確保することができなくなってしまいました。この時は、町外から飲料水を運んだり、所沢陸軍飛行学校から給水を受けたりして、これを切り抜けました。

所沢町は、このことをきっかけに水道の建設を計画し、昭和10年（1935年）7月から工事が始まりました。そして、昭和12年（1937年）3月、町政史上最大の工事は見事に完成し、その年の4月1日に町民が待ち望んでいた給水が開始されました。

昭和25年（1950年）11月、所沢町は所沢市となりました。また、昭和30年代に入り、新所沢地区の住宅団地の建設などにより急激に人口が増えました。

それまで地下水を水道水として利用していた所沢市では、たくさんの地下水をくみ上げたために地盤沈下が起こりました。そこで、昭和49年（1974年）から、県営水道の水（県水）を取り入れました。現在では、年間配水量の約9割が県水であり、残りの約1割が所沢の地下水となっています。

また、水道の普及率は、現在ほぼ100%となり、とても暮らしやすくなりました。



北野公園市民プール

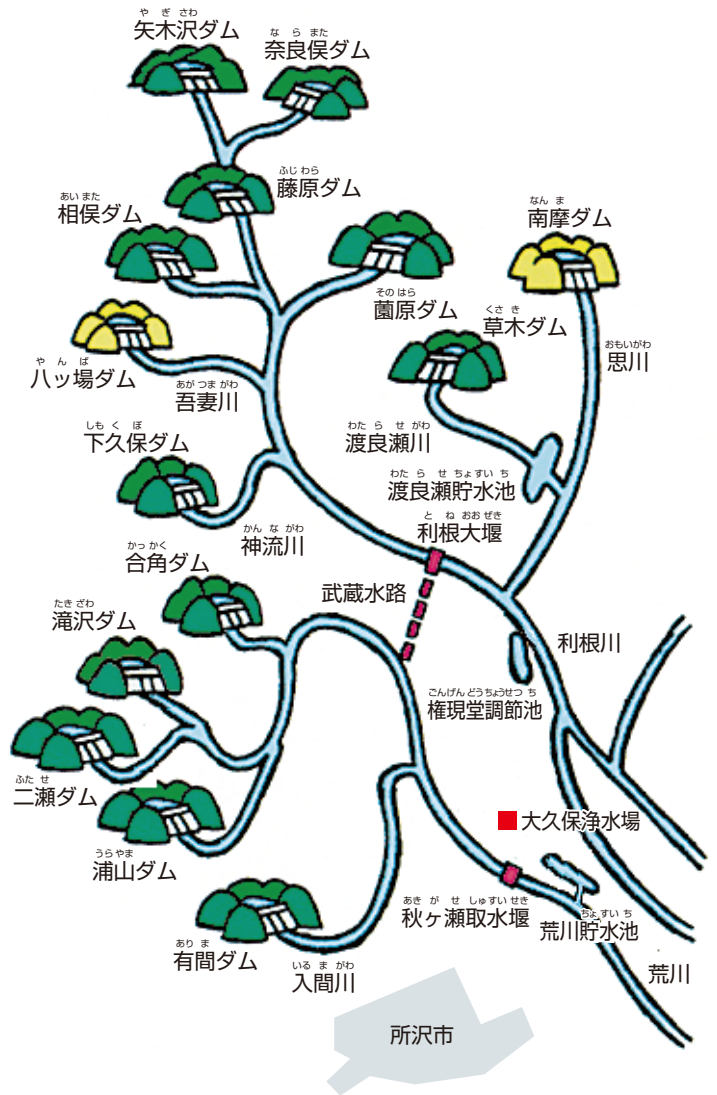
水道水はどこから来るの？

ほとんどが利根川と荒川の水です

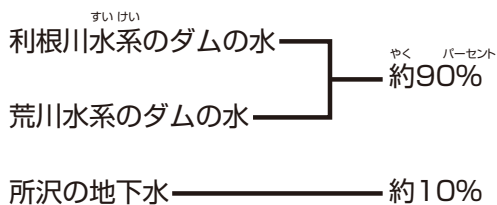
利根川や荒川の上流にはたくさんのダムがあります。

これらのダムにたくわえられた水が、利根川→武蔵水路→荒川と流れ下り、埼玉県大久保浄水場（さいたま市）を通過して所沢市に送られてきます。

このように送られてきた水（県水）は、所沢の地下水と混ぜ合わせて、水道水としてみなさんの家庭や学校などに送られています。



所沢市の水源



浦山ダム (秩父市)

ダムのおはなし

ダムの水は、私たちが毎日使う水として利用するほか、水力発電、農業用水などの役割があります。また、ダムには、洪水防止の役目もあります。

ダムをつくるためには、多くのお金と時間が必要です。そのうえ、そこに暮らす人々は、家や田畑がダムの底に沈んでしまうため住み慣れた土地を離れなければなりません。

私たちの生活を豊かにするダムは、こうした人々の理解と協力によってつくられるのです。

けんすい 県水が来るまで

おおくほじょうすいじょう
埼玉県大久保浄水場 (さいたま市) から所沢市へ

浄水場は、飲み水をつくる工場です。

埼玉県大久保浄水場で処理された水（県水）は、上赤坂中継ポンプ所（狭山市）で枝分かれして、所沢市内の4つの浄水場に送られ、地下水と混ぜ合わせて配水池にたくわえられます。



埼玉県大久保浄水場 (写真：埼玉県企業局提供)

所沢市の浄水場



第一浄水場 宮本町二丁目7番7号



東部浄水場 並木七丁目2番地



南部浄水場 荒幡480番地の1



西部浄水場 北野南三丁目19番地の3

浄水場の運転は？

第一浄水場で行っています

第一浄水場では、日夜、さまざまな機械の点検や送り出す水の量の監視などを行っています。

集中管理システム

浄水場の機械の運転操作や監視を行っているところです。

第一浄水場では、遠く離れた東部浄水場・西部浄水場・南部浄水場の3施設の機械の運転操作や監視も行っていきます。

各浄水場からは、安心して飲めるきれいな水を365日休むことなく送り続けています。



監視室の様子



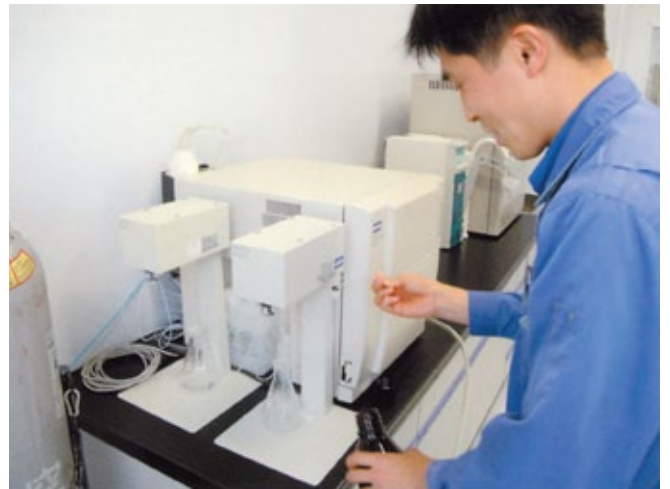
4つの浄水場から送ることができる水の量の合計は、1日に最大172,000立方メートル[m³]で、これは、学校のプール500杯分にもなるんだよ！

●学校のプールの水は、約350m³

水の検査は？

地下水や処理された後の水道水の色やにごり、水道水に含まれる塩素の量などのさまざまな検査を毎日行い、水質基準に合格しているかをチェックしています。

水質検査は、地下水はもとより、浄水場から家庭の蛇口に届くまでの間でも定期的に行っています。



水質検査

道路やご家庭で水漏れを見つけたときは！

●道路で水漏れを見つけたら、すぐに上下水道局へお知らせください。

平日8:30～17:15⇒給水管理課 (☎04-2921-1082) / 夜間・休日⇒警備室 (☎04-2921-1100)

●ご家庭(宅内)で水漏れを見つけたら、応急処置をして所沢市指定給水装置工事業者へ修理を依頼してください(有料・自己負担)。連絡先や応急処置の方法については、所沢市ホームページ(トップページ)→くらし→水道→水道の修理について)にてご確認ください。

水漏れは、大切な水を無駄にしてしまいます。ご協力をお願いします。

水道水ができるまで

所沢市の水道は、埼玉県大久保浄水場から送られてくる水（県水）と所沢の地下水を利用して、きれいで安全な水がみなさんの家庭や学校に送られています。



①取水井 (深さ240m~350m)
浄水場のまわりの深井戸からポンプで地下水をくみ上げる。



②着水井
地下水を受け入れ、水の量を計測し、消毒剤で滅菌する。



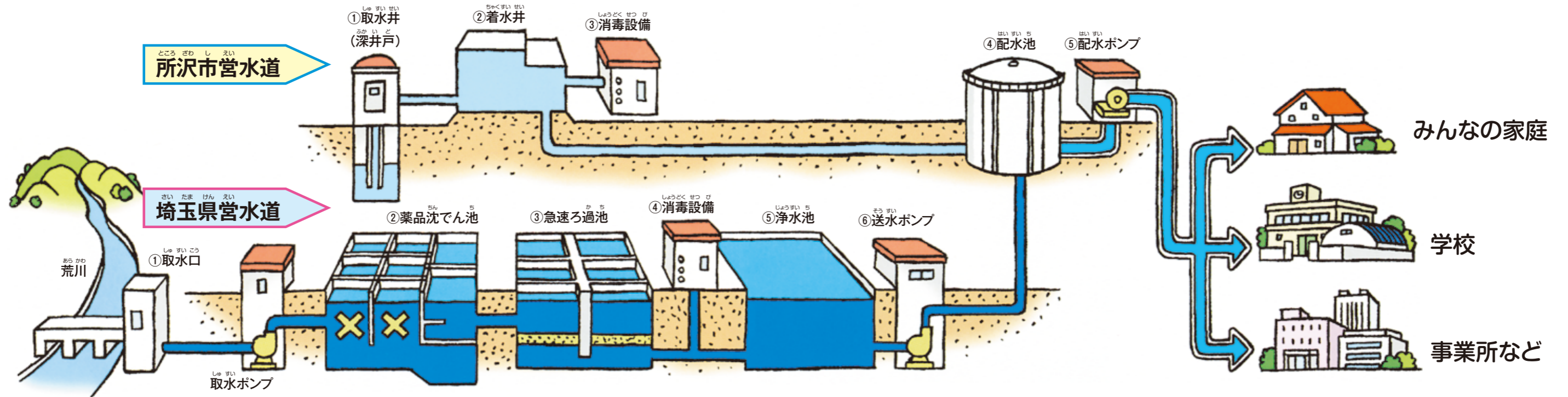
③消毒設備
消毒剤(次亜塩素酸ナトリウム)で消毒・滅菌するための設備。



④配水池
飲めるように処理された水をためておく。



⑤配水ポンプ
ポンプで市内の家庭や学校に水を送る。



①取水口
武蔵水路から来た利根川と荒川の水を一緒に取り入れる。



②薬品沈でん池
薬品を混ぜて、水の中のゴミや砂を沈める。



③急速ろ過池
水を砂の層でこして、細かいゴミを取り除く。



④消毒設備
消毒剤(次亜塩素酸ナトリウム)で消毒・滅菌するための設備。



⑤浄水池
きれいに処理された水をたくわえる。



⑥送水ポンプ
このポンプで、所沢市などの市町村へ水道水を送り出す。

水は限りある貴重な資源です

水道の蛇口をひねるだけで、勢い良く出てくる水。でも、あまりにも簡単に出てくるため、つい無駄に使っていませんか？“水”は、みんなの財産です。できるだけ大切に使わなくてはなりません。

もう一度水の使い方を考え直し、毎日の生活の中で限りある水資源をもっと有効に使いましょう。

小さな工夫で大きな節水！水の上手な使い方



●歯みがきは水を止めて

◎流しっ放しはダメ！1分間に12Lのムダ。



●シャワーはこまめに止めて

◎シャワーの出しっ放しをやめ、こまめに蛇口の開け閉めを！



●こまめに水量の調節を

◎炊事や洗面は、こまめに水の出を調節して。



●風呂の残り湯も再利用

◎風呂の残り湯は、洗濯や掃除、まき水に利用して！



●洗車はバケツで！

◎バケツ洗いなら3杯（約30L）でOK！ホース洗い20分では約240Lも！



●节水型機器もあります

◎水洗トイレや洗濯機などを買うときは、节水型の機種を！

雨水も活用しよう！

雨水を都市の貴重な水資源として活用しましょう。

ダムを建設するなどの新たな水資源の確保が一層困難となっている現在、雨水も大切な水資源です。

ビルや家庭の屋根に降る雨をたくわえ、庭のまき水などに活用しましょう。

みついでんせつ 三ツ井戸～水にまつわる伝説～



西所沢駅近くの「弘法橋」のたもとに残る井戸

水道がひかれるまで水に苦労した所沢には、次のような伝説が残されています。

夏のある日、1人の僧に1杯の水を求められた娘は、水をくみに行きましたが、なかなか戻ってきません。不思議に思った僧は、帰ってきた娘にその訳を尋ねました。すると娘は、このあたりが昔から水に不便なこと、井戸まで遠くて苦労していることを語りました。それを聞いた僧は、立ち去る前に娘に3つの場所を杖で指し示し、そこに井戸を掘るようにと言い残していきました。半信半疑ながらも村人たちがその場所を掘ると、深く掘ることもなく清らかな水がこんこんと湧き出しました。夏でも枯れることのないその井戸を、村人たちは「三ツ井戸」と呼び、誰言うともなくあの僧は弘法大師だという話が広まりました。

これは、何の蓋？

【水道】

①消火栓



火事が起きたときに、消防活動に必要な水を水道管から取り出すための施設です。

②空気弁



水道管の中に混入した空気を管の外へ出したり、工事のときに水を管の外に出すための空気を吸い込むための施設です。

③仕切弁



水道管を取り替える工事をするときに、管の中の水の流れを止めるための施設です。

【下水道】

①マンホール（雨水）



まちに降った雨を川まで流す「雨水管」を管理するための出入り口です。

②マンホール（汚水）



家庭などから出た汚水を下水処理場まで流す「汚水管」を管理するための出入り口です。

③浸透井



近くに降った雨を地中に浸透させる施設です。浸水被害を防ぐ役割があります。

※これらのほかにも、いろいろなデザインの蓋があります。

所沢の下水道の歴史

下水道の誕生から現在まで

所沢市では、昭和30年代に入り、新所沢地区の住宅団地の建設などにより急激に人口が増えました。それに伴い、家庭や工場などから出る下水の量が増えていきました。

そのような中、昭和32年（1957年）2月から下水道の整備を始めました。その後、所沢下水処理場（その後、名前は「所沢浄化センター」に変わりました。）の建設も始め、昭和43年（1968年）6月に完成し、所沢の下水処理が始まりました。

所沢浄化センターで下水をきれいにすると汚泥が出ます。この汚泥からは堆肥（コンポスト）という肥料などを作ることができます。この肥料を作るために昭和56年（1981年）10月から所沢市コンポストセンターの工事を始め、昭和58年（1983年）9月に完成しました。汚泥は堆肥に生まれ変わって農家や市民、学校などに配られ、大変喜ばれました。

また、昭和40年代から50年代前半にかけて毎年1万人もの人口の増加があり、所沢浄化センターだけで全ての下水を処理することが難しくなったため、昭和58年（1983年）4月から、埼玉県が管理する荒川右岸流域下水道に加わって、所沢市内の一部の地域の下水を埼玉県の下水処理場できれいにするようになりました。



かつての所沢浄化センター(上)と所沢市コンポストセンター(下)



その後、所沢市の下水の全てを埼玉県の新河岸川水循環センター（下水処理場）で効率よくきれいにできるようになりました。

そのため、平成24年（2012年）4月、所沢浄化センターと所沢市コンポストセンターは役目を終えました。

平成31年3月末現在、所沢市の下水道の普及率は94.1%となっています。

所沢市では、清潔で快適な生活を送れるように、今後も下水道の整備と維持管理を進めていきます。



「とこそざわ」デザインの下水道マンホール蓋

所沢市で使われた水のゆくえ

所沢市内の家庭や学校、工場などで使われた水は、和光市にある埼玉県の新河岸川水循環センター（下水処理場）まで流れていき、きれいにしてから新河岸川に戻っています。

新河岸川水循環センターには、狭山市・入間市・川越市など、13の市や町から出た下水がそれぞれの下水道管（流域下水道幹線）を通して集まってきます。きれいになった水は、最後は東京湾まで流れていきます。

●「流域下水道」は、2つ以上の市町村から出る下水を効率的に処理することを目的とした下水道です。



新河岸川水循環センター（和光市）

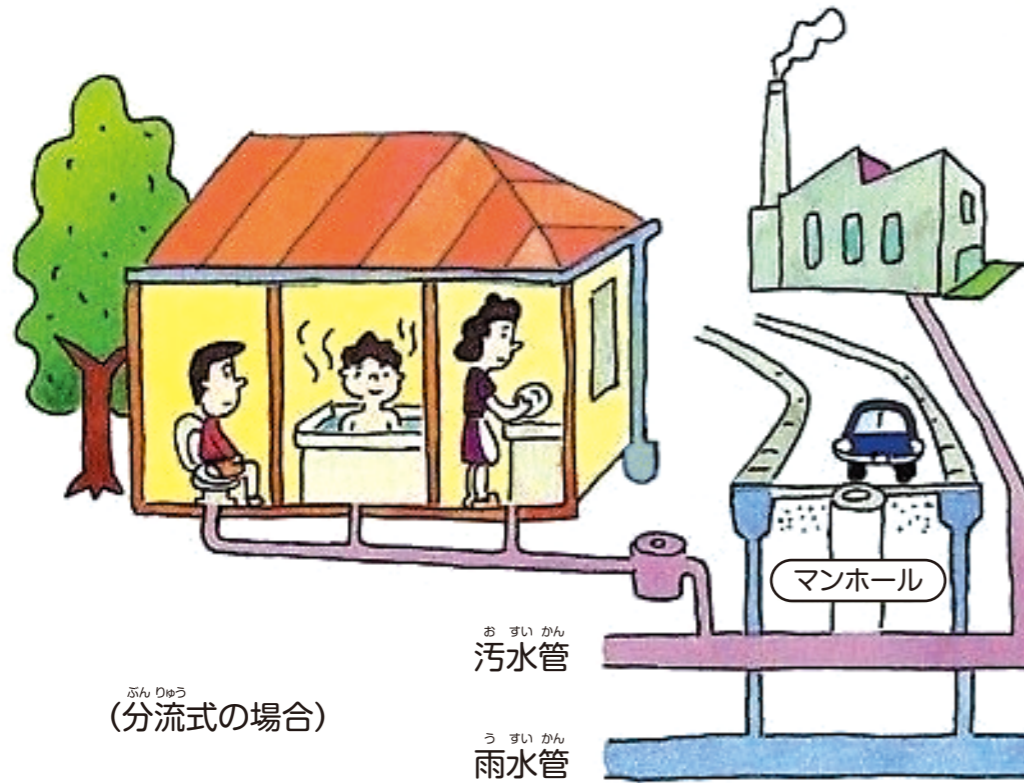
使った水がきれいになるまで

私たちは毎日の生活において、台所や風呂、トイレなどでたくさんの水を使っています。その水を汚れたまま自然に流すと、川や海が汚れてしまい、やがてはきれいな水を使うことができなくなってしまいます。

汚れた水をきれいにして自然に戻すための仕組みが下水道です。汚れた水は、地下にある下水道管を通して下水処理場に集まり、きれいな水によみがえってからまた自然に戻っていきます。

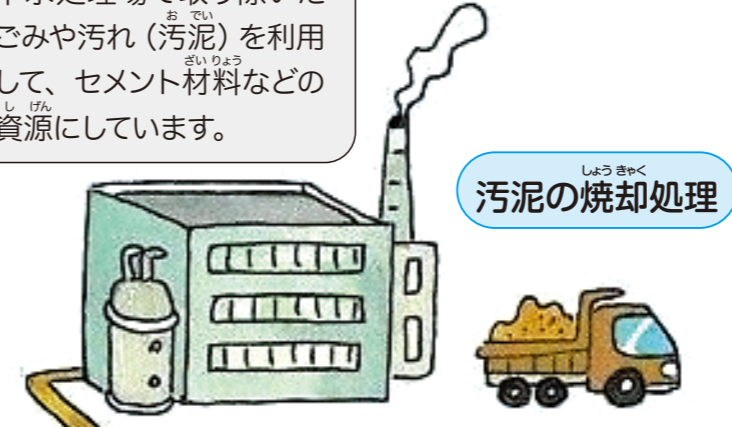
普段は目に見えない下水道ですが、地球の水循環の中で重要な役割を担っているのです。

家庭・事業所など



(分流式の場合)

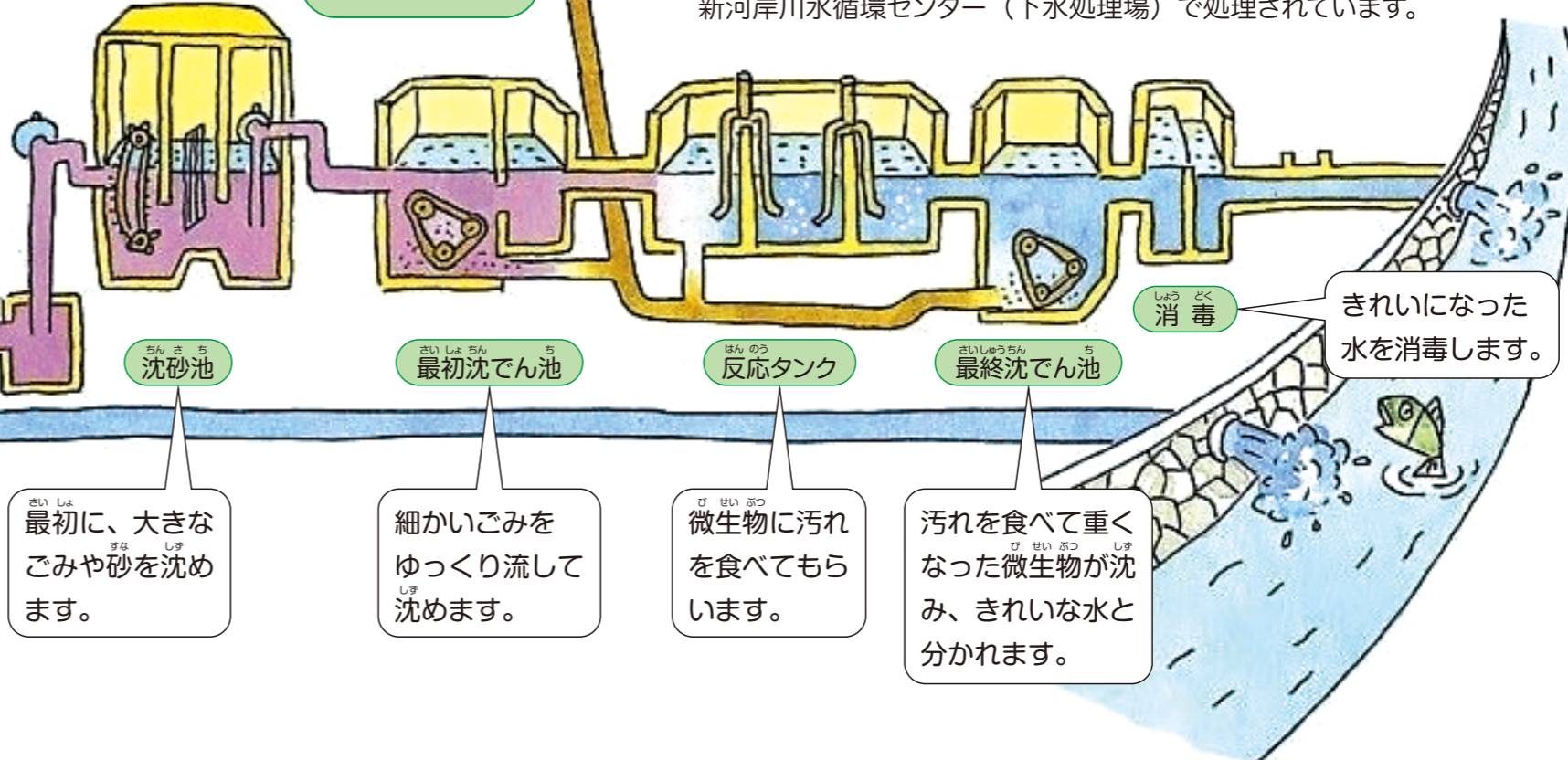
下水処理場で取り除いたごみや汚れ(汚泥)を利用して、セメント材料などの資源にしています。



汚泥焼却炉

下水処理場

※現在、所沢市の下水道管で集められた全ての汚水は、埼玉県の新河岸川水循環センター(下水処理場)で処理されています。



最初に、大きなごみや砂を沈めます。

細かいごみをゆっくり流して沈めます。

微生物に汚れを食べてもらいます。

汚れを食べて重くなった微生物が沈み、きれいな水と分かります。

きれいになった水を消毒します。

まちに降った雨はどこへ行くの？

私たちのまちでは、快適な生活のため、多くの道路がアスファルトで覆われています。

下水道には、まちに降った雨を流し、浸水被害を防ぐ役割もあります。

下水道がなかったら…



降った雨は地中にしみ込まないので、道路や家が水浸しになってしまいます。

下水道があると…

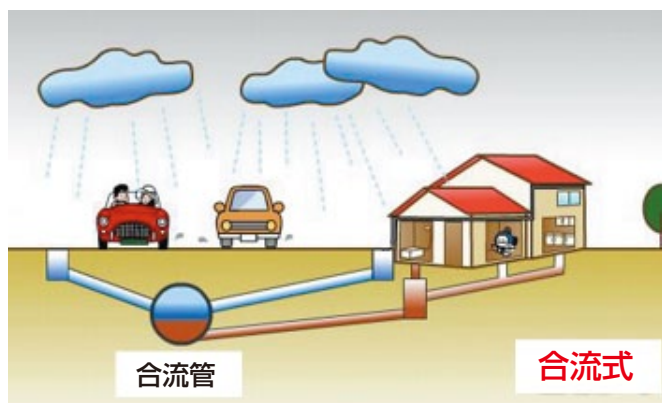


降った雨は、下水道管に入り、川などに流されます。

下水を流す方法

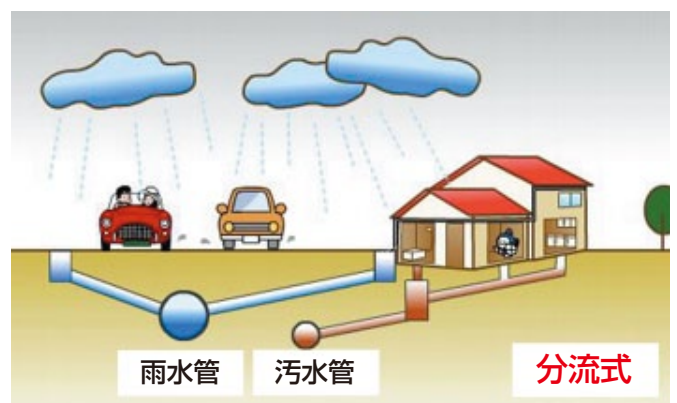
下水道管で流す汚れた水（汚水）と降った雨（雨水）を合わせて「下水」と呼びますが、これらを流す方法には、「合流式」と「分流式」の2つの方法があります。

【合流式】



1つの管に汚水と雨水を集め、下水処理場まで流す方法です。早期に下水道が整備された所沢地区・緑町・小手指町の一部などはこの合流式で整備されています。

【分流式】



汚水と雨水を別々の管で流す方法です。汚水は下水処理場できれいにしてから、雨水はそのまま川などに流します。所沢市では現在、全てこの分流式により整備を進めています。

はやくわり 下水道の果たす役割

普段は目に見えない下水道ですが、私たちの生活の中でとても大切な役割を果たし、清潔で快適な生活環境をつくっています。

快適な生活を支えます

汚いドブや溝がなくなることで、蚊やハエがいなくなり、きれいなまちで、快適で安心した生活ができます。まちに汚水が直接流れないので、伝染病を防ぐ役割もあります。



下水道がなかったら…



下水道があると…

地球の環境を守ります

汚れた水は、下水道管で下水処理場に集められ、きれいにしてから川や海に戻っています。きれいな水の循環を保つことで、魚や他の生物がすむことのできる清流がよみがえります。



下水道がなかったら…



下水道があると…

清潔なトイレが使えます

清潔で快適な水洗トイレを使うことができるようになります。そのため、子供から大人まで、安心してトイレを使うことができます。



下水道がなかったら…



下水道があると…

きれいな水を自然に戻そう

公共下水道ができたからといって、なんでも流していいということではありません。

下水道はみんなが使う公共の財産です。1人1人がルールを守って正しく大切に使うことを心がけましょう。

下水道を正しく大切に使うには？



●食用油は流さない

◎油は固まって下水道管を詰まらせます。紙でふき取るなどして、下水道管に油が流れ出ることのないようご協力ください。



●洗剤は適量を使用する

◎洗剤（シャンプーなども含む。）を使いすぎると水がひどく汚れてしまいます。下水処理場の負担となるため、適量の使用をお願いします。



●排水口はこまめに掃除を

◎排水口からごみや髪の毛が流れないように、必ず網などをつけ、いつもきれいにしましょう。



●トイレにはトイレットペーパーを

◎水に溶けない紙や紙オムツを流すと、詰まりの原因になります。



●灯油などを捨てない

◎危険物を流すと、爆発する可能性があります。ありととても危険です。

もしも…
トイレが詰まったら



◎たいていの詰まりは、市販の「ラバーカップ」で直せます。それでも直らないときは、排水設備工事店にご連絡ください。

“雨水浸透ます”設置のすすめ！

所沢市は、水道水源の1つとして地下水を利用しています。そこで、地下水を守り、貴重な水道水源を確保するために、また、都市型水害を防止するために、雨水を地下に浸透させる“雨水浸透ます”を宅地内に設置することをお勧めします。補助制度もありますので、ご利用ください。

お問合せ先
上下水道局窓口サービス課 ☎04-2921-1086

足元を見てみよう！ マンホール蓋で下水道をもっと身近に

所沢市では、普段意識する機会が少ない下水道をより身近に感じてもらうため、また、下水道施設を新たに活用するため、いま全国的に注目を集めているマンホール蓋に着目し、コラボマンホール蓋の作成や、マンホール蓋広告事業、さらには全国展開中のマンホールカードの作成など、様々なことを行っています。

全国初！マンホール蓋広告事業

平成30年度から、全国で初めてマンホール蓋を活用した広告事業を始めました。何気なくいつもの道を歩いていると、足元に気になるものが……。そんな新しい広告の形としてマンホール蓋を利用してもらい、いただいた広告料はより良い下水道とするために役立てていきます。

平成31年1月現在、所沢市内の駅前周辺（所沢駅・新所沢駅・航空公園駅）10か所に広告入りマンホール蓋を設置しています。

ミューズ MUSEをマンホール蓋のデザインに

平成29年12月には、所沢市民文化センター（MUSE）と協力して、MUSEのホールなどをデザインに取り入れたマンホール蓋をつくりました。

既にある下水道施設を活かしながら、MUSEのことをより多くの人を知り、興味を持ってもらうきっかけになるように、また、下水道のイメージアップにつながるように、最寄りの航空公園駅からMUSEまでの歩道に9種類（10か所）のデザインマンホール蓋を設置しました。

〈例〉



みんなの絵がマンホール蓋になる?!

所沢市では、平成30年度から下水道の日（9月10日）を記念したポスター作品コンクールを小学生を対象に実施しています。

コンクールで所沢市上下水道事業管理者賞に輝いた作品は、所沢駅東口前のマンホール蓋にデザインされ、1年間設置されます。

もしかしたら次は君の絵がマンホール蓋になるかも?!

過去の浸水被害と対策

【新所沢駅西口の浸水対策】

新所沢駅西口地区は、都市化により住宅や道路の舗装などが増えたことで、雨水が地中に浸透しにくい場所が多くなり、地表にあふれる雨水の量が年々多くなっていました。

それまでは、昭和30年代に整備した合流管（雨水と汚水を一緒に流す下水道管）だけであふれた雨水を処理していましたが、あまりにも量が多くなり、それだけでは対応しきれなくなっていました。



新所沢駅西口の浸水被害

そのため、毎年、住宅などの浸水被害が発生し、地域住民から早期解決を望む声があがりました。

そこで、浸水被害の対策として、降った雨水を一時的にためることのできる「調整池」を6箇所（※）つくる工事を始め、平成3年（1991年）に全て完成しました。

これにより、毎時56mm程度の非常に激しい雨が降っても浸水被害が発生しなくなり、大きな効果をあげています。

※上砂公園調整池、中央公園調整池、中砂公園調整池、桃の木公園調整池、泉町調整池、中道公園調整池



雨水調整池の中の様子

【砂川堀雨水幹線】

所沢市には、川越市、狭山市、富士見市、ふじみ野市及び三芳町の5市1町にまたがり、延長約13kmの砂川堀雨水幹線が通っています。

雨水幹線は、まちに降った雨を流すための水路で、浸水被害を防ぐ役割があります。

昭和30年代半ば頃からの急激な都市化により、砂川堀が通る新所沢地区やその上流部では、雨水の浸透しにくい場所が多くなりました。そのため、砂川堀は雨が降るとたびたび氾濫を起こし、付近の住宅や道路の浸水が起こるようになりました。

そこで、より多くの雨水を処理できるようにするため、昭和45年（1970年）から埼玉県が主体となり、砂川堀を改修して雨水幹線として整備する計画を立てて工事を進めました。

これにより、現在では周辺地域の雨水を多く集め、浸水被害の防止に大きな効果をあげています。



せせらぎ水路

また、潤いのあるまちづくりを目的として、平成7年（1995年）に砂川堀雨水幹線の上部を利用して「せせらぎ水路（延長650m）」をつくり、地域住民の憩いの場として親しまれています。

地震に強い水道と下水道を目指して

日本は、地震の多い国です。大きな地震が起こると水道管が壊れて、その結果、水が止まってしまうこともあります。また、下水道管が壊れると、トイレの水などが流せなくなります。そのため、所沢市では、被害を最小限にとどめるため、地震に強い水道と下水道を目指して、次のような事業を進めています。

強い水道施設づくり

災害に備えて、より多くの水をたくわえておくため、耐震性貯水槽の設置をしました。

また、古くなった水道管を地震に強い水道管に取り替えています。



耐震性貯水槽の工事の様子

- 「耐震性貯水槽」とは、地震に強い飲料水用の地下タンクのこと。

材料・器具の確保

災害時における水道と下水道施設の復旧・給水に必要な材料や器具、給水車や給水タンクやポリ容器、さらには吸引車などを計画的に整えています。



給水車



緊急自動車



吸引車

強い下水道施設づくり

地震で下水道管が壊れると、トイレの水などが流せなくなったり、道路が陥没して車が通れなくなり、救助活動に支障をきたすこともあります。そのため、地震に強い下水道管やマンホールに取り替えたり、補強する工事を行っています。



マンホール耐震工事の様子

地震で水道が止まったら

指定避難場所を中心として応急給水を行います。

上下水道局では、34万人の市民が必要とする約10日分の水を市内各施設に貯水してあります。

また、県からの送水が停止した場合に備えて、所沢市の給水車が、狭山市にある上赤坂中継ポンプ所（県施設）から給水を受けられる協定を結ぶなど、飲料水の確保に努めています。

地震に備えて水の準備を！～災害は忘れた頃にやってくる～

大きな地震が起きたとき、もしも水道の施設が動かなくなったら、水道水は使えなくなってしまうのです。

地震はいつ起こるかわかりません。

みなさんも、地震に備えて水の準備をしておきましょう。



「マンホールカード」

みなさんは知っていますか？

マンホールカードとは、マンホール蓋の魅力を紹介するコレクションカードであり、下水道への関心を深めてもらう「きっかけのアイテム」として、下水道に関連する施設などで無料配布される下水道広報用のカード型パンフレットです。

マンホールカードは、平成30年12月に第9弾が作成され、407の自治体が参加して、全478種類にまで広まりました。

所沢市は、平成28年4月、マンホールカード全国第1弾（28の自治体が参加。全30種類。）の1つとしてレオとところんのコラボマンホール蓋（※）を採用したマンホールカードを作成しました。
※ご当地キャラクターとプロ野球マスコットとのコラボは、マンホール蓋で全国初のものです。

【マンホールカードのひみつ】

① 位置座標を入力して検索

位置座標は、地球上の場所を示しているんだよ。

*パソコンで場所がわかる！

位置座標

35°47'10.4"N
139°28'28.6"E

35°47'10.4"N 139°28'28.6"E

② 地図上に位置が表示される

地図

所沢駅 東口

ここにがあるんだね。

【所沢市に2枚目のマンホールカードができました！】

平成30年8月、全国第8弾マンホールカード（所沢市では2枚目）を作成しました。

このマンホール蓋は、航空発祥の地、所沢の空をところんとプロペラ機「アンリファルマン号」が自由に飛び回るイメージで作成されました。

新しいマンホールカード （第8弾）



おもて



うら

③ マンホール蓋を見に行こう！



カードがマンホール蓋の場所を教えてくれるよ。
(みんなもカードを集めてみてね！)

④ マンホールカードはどこでもらえるの？



○第1弾
【ところんとレオのコラボマンホール】
→上下水道局下水道維持課で配布中！



○第8弾
【ところんとアンリファルマン号】
→所沢市観光協会（所沢市商業観光課）
で配布中！

※<http://www.gk-p.jp/mhcard/> で
日本全国のカードも見よう！

所沢市の水道と下水道 Q & A

質問

市内の水道管・下水道管の長さはどのくらい？



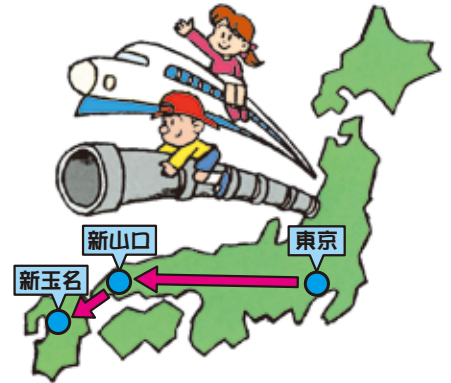
答え

地面に埋められている水道管は、約1,020kmです（平成31年3月末現在）。この長さは、新幹線でおおよそ東京駅から新山口駅（山口県山口市）までの距離に当たります。

※東京駅～新山口駅の距離は、1,027km

また、下水道管は、約1,256kmで（平成31年3月末現在）、おおよそ東京駅から新玉名駅（熊本県玉名市）までの距離に当たります。

※東京駅～新玉名駅の距離は、1,265.3km



質問

1年間に市内で使う水道水の量は？

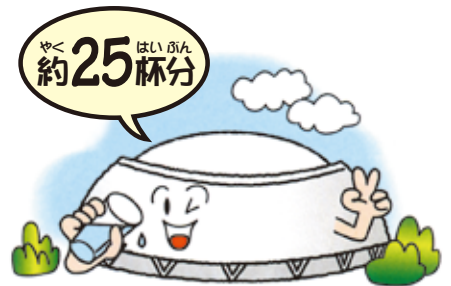


答え

平成30年度の1年間では、メットライフドーム約25杯分（約3,490万立方メートル[m³]）の水を使いました。

例年、最も水を使う時期は梅雨明け頃（7月上旬から中旬）で、反対に最も少ない時期はお正月の頃（1月初旬）となっています。

※メットライフドームの容積は、140万m³



質問

所沢市の水道・下水道は、県内で何番目にできたの？



答え

所沢市では、昭和12年に、県内で6番目に水道事業が始まりました。また、昭和43年に所沢下水処理場が完成し、県内で6番目に下水処理場の運転が始まりました。



建設当時の第一浄水場

質問

500mLペットボトル水1本の価格で水道水は何本分買えるの？



答え

500mLペットボトル水1本の価格を150円とすると、水道水では1,000L分の水を買うことができます。

これは、500mLペットボトル水で2,000本分の量に当たります。

質問

私たちは1日にどのくらいの水を使っているの？

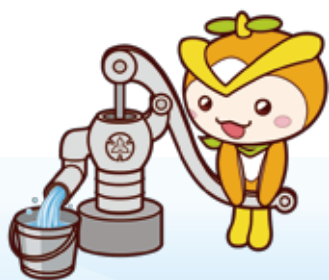


答え

所沢市の1人1日当たりの平均使用水量は、約285Lです（平成30年度）。これは、500mLペットボトル

約570本分の量に当たります。





所沢市上下水道局

〒359-1143 所沢市宮本町二丁目21番4号
☎04-2921-1084 (総務課)

<http://www.city.tokorozawa.saitama.jp/kurashi/suido/index.html> (水道)

<http://www.city.tokorozawa.saitama.jp/kurashi/gesuido/index.html> (下水道)

2019年6月 発行